

子育てに配慮した住宅のガイドライン（素案）

第1編「ガイドライン策定の背景および考え方」構成について

(1) 東京における子育て世帯を取り巻く状況	
① 少子化の現状	
a 合計特殊出生率の推移	・ 合計特殊出生率の年次推移
b 出生率の推移	・ 出生数の年次推移
c 年少人口の推移	・ 年少人口の将来推移
d 子育て世帯数の推移	・ 子育て世帯数の年次別推移
② 子育てと住環境の現状	
a 子育て世帯の収入別居住形態	・ 子育て世帯の年収別住居形態
b 共働き世帯の状況	・ 共働き世帯の割合 ・ 保育所等利用待機児童の状況
c 子育て世帯の住宅の広さ	・ 夫婦と18歳未満の子供2人からなる4人世帯における居住水準を満たす割合 ・ 民営借家と面積別戸数と割合
d 住宅の安全性と子育て	・ 子供の家庭内死亡事故の発生状況 ・ 受傷形態と発生場所（0～12歳） ・ 一般負傷の負傷原因（0～12歳） ・ 水による事故の発生場所（0～12歳） ・ 初診時における傷病の重症度の割合（0～12歳） ・ 児童虐待相談の対応件数の推移
e 子育てに重要な住環境	・ 子育てにおいて重要と思う要素
f 子育て世帯の働き方	・ テレワークの実施状況、実施に対する意向 ・ テレワーク実施に当たっての不満
(2) 住宅における子育て支援施策の状況	
a 子育て支援住宅認定制度	・ 制度概要 ・ 認定住宅の事例紹介 など
b 住宅セーフティネット制度	・ 制度概要 ・ 登録制度への支援内容や登録状況 ・ 居住支援協議会、居住支援法人の状況
(3) ガイドラインの基本的考え方	
① 子供の遊び場と子育てのための施設など「良好かつ周辺環境の確保」	
② 子育てに配慮した設備や間取りなど「安全性・家事の効率性の確保」	
③ 子育て世帯が集まって住むことによる「安心感や活発な交流の展開」	
④ 集会所や自転車置き場などを円滑に利用するための「管理・運営のルールづくりなど」	
⑤ 既存ストックを活用した子育て世帯への支援による住環境の向上	
	・ 既存住宅ストックの活用の重要性 ・ ガイドラインを活用した東京ささエール住宅の性能向上 ・ 居住支援法人、居住支援協議会を活用した子育て世帯への支援
⑥ 「新たな日常」や環境への配慮、災害への対応	
	・ 感染症予防の観点やテレワークなど新たな働き方への対応 ・ 環境や災害などに対するハード、ソフト両面による対応
(4) ガイドラインの対象	
	・ 基本的には集合住宅が対象だが、戸建住宅にも適用可能 ・ ガイドラインは事業者、都民に活用されることを想定 ・ 当ガイドラインの「子供」は小学生まで